

令和2年6月14日

山形県高体連柔道専門部長
山形県中体連柔道専門部長 殿
各地区柔道連盟会長
(含各スポーツ少年団)

山形県柔道連盟
会長 二戸 昭夫
(公印省略)

新型コロナウイルス感染症への対応について(通知)

梅雨の候

日ごろから当連盟の運営各般にわたり、格別なる御理解と御協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、標記のことについては、下記により適切に対応していただくようお願いいたします。

記

1 対応の基本

全日本柔道連盟(以下「全柔連」)が示している既通知「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)への対応について」(令和2年6月3日付全柔連発第20-0064号)にある「段階1から段階4まで」の統一的な形をすべての関係者が感染予防のため励行すべきガイドラインが示されており、これが基本となります。

よって、県内各地区・職域で当該ガイドラインに従い、順次計画的に練習を進めていただきますようお願いいたします。

換言すれば、示された感染予防措置を講じて進行した場合、最短で本年7月下旬あるいは8月中には、大会の再開が可能になる計画でありますので、このことを十分念頭において取り組まれるよう重ねてお願いいたします。但し、これはあくまでも最短であり、これ以上の期間を要する場合もあり得ます。

2 本県柔道連盟主催による大会の再開(予定)

同ウイルスに係る現状の収束状態が継続していること、加えて各地区・職域で全柔連の「第4段階」まですべて進んでいることを条件として、年間計画にある

令和2年10月25日(日) 於 酒田市武道館

「山形県柔道連盟会長杯争奪南北対抗柔道大会」

から、再開したいと考えています。

従って、各地区・職域でこの県内全域を対象とした大会を1つの目安として、鋭意取り組んでいただきますようお願いいたします。

なお、同大会以前に全柔連の示す「段階4」に達した各地区・職域においては、各々の責任者が可能と判断すれば、地区大会等の開催を拒むものではありません。

3 その他配意事項

上記1・2については、新型コロナウイルス感染が現状のまま収束状態にあることを前提としています。

また、選手の心技体が充実し乱取練習（フルコンタクト）や大会等に臨める状態まで回復していること、更には大会を開催する場合、無観客や一部の関係者に限り参加を認めるなど、いわゆる3密状態（密閉・密接・密集）回避等への十分な配慮もお願いいたします。

以上